

## 事業計画書

事業名		障がい児の保護者の居場所カフェ事業（拡充）
団 体	名称	NPO 法人ペアレント・サポートすてっぷ
	住所	倉敷市白楽町 554 番地ロイヤルガーデン白楽町 405 号
	遂行責任者	安藤 希代子

## 1 団体の目的

この法人は、障がい児の保護者に対して、相談支援事業（ピアサポート）等を行い、保護者の精神的サポートを図ることで間接的に障がいのある子どもの健全な育成に寄与することを目的とする。

## 2 事業の分野

\* 次のいずれか該当する分野に☑をしてください（複数選択可）。

保健，医療又は福祉の増進    社会教育の推進    まちづくりの推進  
 観光の振興    農山漁村又は中山間地域の振興    学術，文化，芸術又はスポーツの振興  
 環境の保全    災害救援    地域安全    人権の擁護又は平和の推進    国際協力  
 男女共同参画社会の形成の促進    子どもの健全育成    情報化社会の発展  
 科学技術及び学術の推進    経済活動の活性化    職業能力の開発及び雇用機会の創出  
 消費者保護    団体の運営又は活動に関する連絡，助言又は援助

3 現状と課題

( 1 ) 地域の状況や市民ニーズ

**倉敷市で年間に生まれる子どもの数は、約 4,500 人前後**

● 障がいのある子どもの数

< 参考：特別支援教育の対象者数 >

市立倉敷支援学校児童・生徒数 202 名 ( H 28 )

県立まきび支援学校児童・生徒数 333 名 ( H 28 )

県立早島支援学校 145 名 ( H 28 )

市内小学校特別支援学級在籍児童数 1,044 名 ( H 28 )

市内中学校特別支援学級在籍生徒数 404 人 ( H 28 )

通級指導教室在籍者数 ( 小・中・幼 ) 861 人 ( H 26 )

合計 2,989 人

● 発達になんらかの課題があると認識されている子どもの数

1 歳 6 か月健診・3 歳児健診における要フォロー児童数

1 歳 6 か月...963 人 ( 22.6% ) 3 歳児健診...874 人 ( 21.3% )

5 人に 1 人がチェックされている

福祉サービス ( 児童発達支援 ) 利用者数 1,268 人 ( 平成 27 年度 )

以上のように、障害がある、もしくは発達に何らかの課題があると認識される子どもの数が非常に多いため、そのことに戸惑い、不安に感じ、悩む保護者の数も非常に多くなっている。

( 2 ) 本事業で取り組む地域課題

子どもの発達、もしくは障がいのことで悩む保護者は増加しているが、その人たちの話を十分に聞く場所は圧倒的に不足している。保護者はネットからの情報で自分だけで考え込む傾向にあり、子どもの療育に通っていても精神的なサポートはほとんど受けられていない。子どもの将来への見通しも持ちづらく、子どものためにすべきことの優先順位もつけづらく、あれこれと手をだしては疲弊していく状況がうかがえる。

倉敷市では公的窓口として「総合療育相談センターゆめぱる」が保護者の悩みを聞く役割を担っているが、絶対数が多いためすべてをサポートするのは不可能な状態である。発達に課題のある子どもであっても健やかに成長していけるようにするためには、まずその保護者をしっかりと支えることが求められている。

4 目的と概要

( 1 ) 事業の目的

平成 28 年 4 月より本格稼働した「障がい児の保護者の居場所 “うさぎカフェ ”」を、

A) カフェを利用する保護者の満足度を高め、より多くの保護者に利用してもらえるようにすること

B) この場での支援を先進モデルとして内外に発信し、将来的に保護者支援の担い手となる人材を育成する場とすること

以上を目的として、より一層の内容拡充を図る。

( 2 ) 事業の概要

目的 A)について

「障がい児の保護者の居場所 “うさぎカフェ ”」において以下のことを行う

勉強会 2 回 ( 講師 : 川崎医療福祉大学 小田桐早苗先生ほか 1 名、講義 + グループワーク )

ミニコンサート 3 回

手作りの会 ( 保存食品の手作りをしながらの保護者交流会 ) 3 回

それぞれの企画ごとにアンケート用紙を記入してもらい、企画の満足度・カフェや法人について期待するものを聞くことに合わせ、子育て中の保護者にとって「どのような資源・サービスがあれば助かるか」等も調査し、今後事業を展開していく上での参考材料とする

< 解説 >

勉強会 ( ) は、「障がいのある子のきょうだいについて」等、障害児の保護者の子育てに役立つ内容を実施予定。参加人数を絞ることにより、ざっくばらんな雰囲気の中で質問もしやすくなる上、グループワークをセットにすることにより、講義内容の理解がより深まること、参加者同士親しくなることも期待できる。、については、28 年度も実施し、好評であったため 29 年度も引き続き実施する。アンケートで聞く内容については十分吟味し、有意義な調査となるよう努める。

目的 B)について

人材育成の前段階として、まずカフェの存在とそこで行われている支援の内容を知ってもらうために以下のことを行う

支援者を主な対象とした研修会...特別支援教育に関する映画鑑賞とグループディスカッション ( 講師 : 神戸大学 高田哲教授 )

カフェの場を会場とする支援者対象の研修会開催の誘致に努める ( 主催が別団体となるため予算建てはしない )

< 解説 >

研修会 ( ) については、神戸で行われている同様の取り組みを作陽大学中塚志麻准教授の紹介により倉敷で行うもの。講師の高田哲教授は小児神経学会専門医で「障害を持つ子どもとその家族の支援」を研究テーマとするスペシャリストであるため、事業の内容にも沿っており、法人および倉敷市の支援者にとっても良い学びの機会となると考える。

研修会 ( ) については、平成 28 年度にも玉島主任児童委員を対象とした研修会、中学校の支援学級担任を対象とした研修会を行っており ( いずれも講師は当法人理事長が務めた ) 同様の研修会をさらに誘致することによってカフェを知り保護者支援について学ぶ機会としてもらう。

## 5 受益者と効果

### ( 1 ) 事業の受益者

倉敷市内の障がい児および、子どもの発達に不安を抱えている保護者

### ( 2 ) 事業の実施に期待する効果

- 「障がい児の保護者の居場所“うさぎカフェ”」の内容が充実し、利用者の満足度が高まることにより、「倉敷スタイルの保護者支援の形」として評価が確立されることが期待される。
- 先進モデルとして発信、周知を図ることにより、「障がい児の保護者支援の必要性」についての社会的な認知を高め、将来的には地域社会全体において障がい児の保護者の支え手が増え、子育てのしやすさにつながる

## 6 団体の能力

### ( 1 ) 団体が持つ能力

団体には発達障がいの子どもの保護者を支援する県認定のペアレント・メンターが 2 名おり、他のメンバーも、県外の研修会に参加する等して研鑽を積んでいる。団体では中心メンバー以外にも支援者が多数いるため、この事業の広報等側面支援も期待できる。また、法人には川崎医療福祉大学の准教授や社会福祉士、社会保険労務士も社員として在籍しており、専門家の立場から事業内容へのアドバイスを行う。

### ( 2 ) 能力の活用

団体の能力を生かし、公的機関よりも、より保護者に近い立場・目線で保護者に寄り添うことができる。団体主要メンバーはすべて障がい児の保護者であることから、その当事者性を生かし、「子育てで最も大変だった時期に自分たちがして欲しかったこと、して欲しくなかったこと」を常に念頭に置きながら子育て中の保護者の立場や気持ちを考え、細やかな質の高い支援を行うことができる。

事業運営に伴い専門知識や客観性、マンパワー等が求められる場合も、団体の社員や社員外の支援者による協力体制が構築されているため、滞りなく事業を進行することができる。

7 事業内容とスケジュール

( 1 ) 事業の具体的な内容

目的	イベント名	定員	参加費	講師謝金等
A	障がい児の子育てに関する勉強会 (年 2 回実施・実施月未定)	20 名	500 円 (別途ランチ 代 600 円)	講師 (大学教員) 謝金 50,000 円×2 名
A	音楽カフェ (年 3 回実施・実施月未定)	20 名	なし (別途ランチ 代 600 円)	講師謝金 20,000 ×2 組 (1 組はギャ ラ無し)
A	手作りイチゴジャムの会、手作りト マトケチャップの会、手作りあんこ の会 (茶話会活動調理バージョン)	10 名	あんこの会 600 円、ケチ ャップの会 1,000 円、ジ ャムの会 800 円	講師なし
B	特別支援教育に関する映画鑑賞と グループディスカッション (年 1 回 実施 実施月未定)	20 名	0 円 (別途ランチ 代 600 円)	講師 : 神戸大学 高田哲教授 100,000 円×1 名

( 2 ) 事業のスケジュール

5 月	手作りいちごジャムの会
8 月	手作りトマトケチャップの会
9 月	手作りあんこの会
	その他は実施月未定

8 目標

内容	現状	目標値
目的 A ) 企画ごとのアンケート実施	0%	100%
目的 B ) 支援者向け研修会誘致件数	2 件 / 年	6 件 / 年

9 受益者負担 団体の財源確保のため、可能な限り参加費や受講料などを徴収してください。

徴収する (見込み: あんこの会 600 円、ケチャップの会 1,000 円、ジャムの会 800 円 )

徴収しない (理由: \_\_\_\_\_ )

10 事業の見通し

\*2年後,3年後といった将来,事業をどのように展開させますか。

うさぎカフェをベースにし、倉敷市全体の保護者支援を充実させるような活動を展開する。具体的には「保護者支援サポーター」の育成研修を行い、支援できる人材を増やすことによって、法人のマンパワーでは手の届かない保護者たちに支援の手を行き届かせることを目指す。

11 他団体との協力

倉敷市総合療育相談センターゆめばる

公益財団法人みんなでつくる財団おかやま

12 行政との協働 **自主事業コースの団体は記入不要です。**

\*協働する市担当部署の名称,役割,協議をした日及び内容を記入してください。

## 収支予算書

## 1 収入の部

科目	内訳	金額(円) <sub>2</sub>	積算根拠
受益者負担	参加費	52,000	
会費からの繰入		0	
その他	研修会ランチ代	72,000	600円×120人分(20人×6回)
市補助金		271,000	
収入合計		395,000	(支出合計と一致)

## 2 支出の部

科目	内訳	金額(円) <sub>2</sub>	積算根拠
人件費(会員) <sub>1</sub>		0	
交通費(会員) <sub>1</sub>		0	
人件費(アルバイト等)		0	
謝金(講師等)	講師・音楽家	240,000	講師(@50,000×2人 @100,000×1人) 音楽家(@20,000×2人)
旅費交通費(講師等)	講師・音楽家	26,000	講師(神戸 11,600円) 音楽家(松山 14,300円)
消耗品費	インク	54,000	6,000円×9個
	暗幕生地	10,000	@5,000(2.8m×3.8m)×2枚
	瓶	4,500	@150×10個×3回
	用紙	500	@250(A4)×2冊
印刷製本費		0	
通信運搬費		0	
材料費		36,000	ランチ材料費(@300×120人)
		15,000	手作りの会材料費(@350×10人 @650×10人 @450×10人)
使用料・賃借料		0	
外注費・委託費		0	
対象経費計		386,000	
食糧費		9,000	お茶代・昼食代
人件費		0	

様式第3号

その他		0	
対象外経費計		9,000	
支出合計		395,000	(収入合計と一致)

1: 会員に支払う人件費と交通費の合算額は、対象経費計の1割を上限とする。

2: 金額欄は切り上げて千円単位で記入してください。